

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ()		財務会計上の短縮番号	4239
第3期実施計画での分類番号/事業番号/枝番号	1061	4	担当部課名	市民生活部地域活性課
			担当課長名	岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	農園芸の振興
第3期実施計画の事業名	植木産業活性化事業
財務会計上の事業名	植木産業活性化事業
事業の対象(誰(何)を)	認定農業者
事業の手段(どうする(させる)ことで)	細河見本園を活用したPR及び支援
事業の目的(どのような結果を得るか)	担い手の育成並びに植木産業の活性化
実施期間	<input type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input checked="" type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		300		340		338		456	
内訳	人件費(人・千円)	0.20人	1,680	0.20人	1,640	0.30人	2,400	0.30人	2,400	146.3%
	正職員	0.20人	1,680	0.20人	1,640	0.30人	2,400	0.30人	2,400	146.3%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	1,980		1,980		2,738		2,856		138.3%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	1,980		1,980		2,738		2,856		138.3%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	ワークショップの回数	回	17	17	17	
成果指標 (2)		見本園工事の進捗	%	100	100	100		100
活動指標 (1)		見本園工事の完成	%	100	100	100		100
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	19,800	19,800	27,380		138.3%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由(担当課) 見本園を活用しPR及び地場産業の活性化。
---	---	------------------------------------

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
	担い手の育成、植木産業の活性化に大切な事業である。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
なし	なし

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 4095
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1061	5	担当部課名	市民生活部地域活性課
			担当課長名	岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	農園芸の振興
第3期実施計画の事業名	鳥獣被害対策事業
財務会計上の事業名	鳥獣被害対策事業
事業の対象(誰(何)を)	農家及び猟友会
事業の手段[どうする(させる)ことで]	猟友会への助成、捕獲檻の購入
事業の目的[どのような結果を得るか]	植木、水稲、野菜など農作物に被害を及ぼしているシカ、猪、カラス、アライグマ等を捕獲し被害の拡大や市街地への侵入を防止する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成2年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	大阪府林業関係補助金交付要綱第3条

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		886		1,350		850		1,142	63.0%
内訳	人件費(人・千円)	0.10人	840	0.32人	2,624	0.50人	4,000	0.50人	4,000	152.4%
	正職員	0.10人	840	0.32人	2,624	0.50人	4,000	0.50人	4,000	152.4%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A		1,726		3,974		4,850		5,142	122.0%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		1,726		3,974		4,850		5,142	122.0%

指標値	区分	内 容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	いのしし・鹿・アライグマの捕獲頭数	頭	50	58	113	
成果指標 (2)		被害面積	m ²	26,000	26,000	26,000		26,000
活動指標 (1)		猟友会への駆除支援額	千円	380	380	380		380
活動指標 (2)		進入防止網の配布	枚	500	570	415		350

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	4,542	10,458	12,763		-
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	猪・アライグマの捕獲対策を強化する。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
農作物の鳥獣被害は、年々増加している。	鳥獣被害が増加しているため、事業をもっと強化してほしい。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 4105
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1061	6	担当部課名 市民生活部地域活性課	
			担当課長名 東 勇輔	

1 事務事業の概要

施策名	農園芸の振興
第3期実施計画の事業名	吉田水路改修事業
財務会計上の事業名	吉田水路改修事業
事業の対象(誰(何)を)	市民及び農家
事業の手段(どうする(させる)ことで)	地元水利組合への助成及び自然環境の整備。
事業の目的(どのような結果を得るか)	漏水を防止十分な農業用水を確保するとともに、ホタルが生息できる生物世予備自然環境に配慮した改修を目指す。
実施期間	<input type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input checked="" type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成21年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	大阪府補助金交付規則及び大阪府耕地事業補助金交付要綱

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		12,789		12,365		0		0	
内訳	人件費(人・千円)	0.10人	840	0.11人	902	0.00人	0	0.00人	0	0.0%
	正職員	0.10人	840	0.11人	902	0.00人	0	0.00人	0	0.0%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	13,629		13,267		0		0		0.0%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	13,629		13,267		0		0		0.0%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	吉田水路改修工事の進捗	%	50	100	0	
成果指標 (2)								
活動指標 (1)		吉田水路改修工事の完成	%	50	100	0		0
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	272,580	132,670			#VALUE!
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	平成21年度完成。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input checked="" type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
なし	なし

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input checked="" type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号
第3期実施計画での分類番号/事業番号/枝番号	1061	99	担当部課名	市民生活部地域活性課
			担当課長名	岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	農園芸の振興
第3期実施計画の事業名	さつき展開催事業
財務会計上の事業名	さつき展開催事業
事業の対象(誰(何)を)	市民・東山臯月会
事業の手段(どうする(させる)ことで)	市花であるさつきの紹介及び即売会を行う。
事業の目的(どのような結果を得るか)	市花である「さつき」を広く市民に知っていただくと共に、栽培技術の普及及び市民緑化の推進と地場産業のPRを目的とする。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		32		0		28		78	
内訳	人件費(人・千円)	0.10人	840	0.15人	1,230	0.15人	1,200	0.15人	1,200	97.6%
	正職員	0.10人	840	0.15人	1,230	0.15人	1,200	0.15人	1,200	97.6%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A		872		1,230		1,228		1,278	99.8%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		872		1,230		1,228		1,278	99.8%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	入場者数	名	1,200	0	1,200	
成果指標 (2)		さつき盆栽出展数	点	60	0	56		60
活動指標 (1)		市広報誌・チラシ配布	回	2	0	2		2
活動指標 (2)		さつき展を通じて植木産業のPR	回	1	0	1		1

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	436,000		614,000		-
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	市民緑化の推進と地場産業のPRのため
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
展示会や即売会を開催し、市花である「さつき」と植木産業のPRを行う。	
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ()		財務会計上の短縮番号	4120
第3期実施計画での分類番号/事業番号/枝番号	1062	4	担当部課名	市民生活部地域活性課
			担当課長名	岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	農園芸の振興
第3期実施計画の事業名	農業経営支援事業
財務会計上の事業名	農業経営支援事業
事業の対象(誰(何)を)	市場等へ出荷する販売農家
事業の手段[どうする(させる)ことで]	有機肥料、出荷野菜種苗及び結束テープの購入助成を行う。
事業の目的[どのような結果を得るか]	農地地力の保持、出荷の推進及び出荷野菜のPR及び規格統一化を図り新鮮で安全な地場野菜を推進する。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 昭和54年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成15年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		1,048		793		700		700	
内訳	人件費(人・千円)	0.30人	2,520	0.22人	1,804	0.22人	1,760	0.20人	1,600	97.6%
	正職員	0.30人	2,520	0.22人	1,804	0.22人	1,760	0.20人	1,600	97.6%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	3,568		2,597		2,460		2,300		94.7%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	3,568		2,597		2,460		2,300		94.7%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	野菜等生産量	t	243	243	249	
成果指標 (2)								
D	活動指標 (1)	有機肥料等購入費助成額	千円	1,048	793	700		1,249
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	3,405	3,275	3,514		107.3%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	有機農業推進のため
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
	農地の地力保持のため、新鮮で安全な地場野菜を推進するため、農家からの要望が大変多い。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 4050
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1062	5	担当部課名	市民生活部地域活性課
			担当課長名	岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	農園芸の振興
第3期実施計画の事業名	生産調整推進対策事業
財務会計上の事業名	生産調整推進対策事業
事業の対象(誰(何)を)	土地地目「田」所有の農家
事業の手段(どうする(させる)ことで)	稲作・転作を組み合わせ、米の生産調整を行う。
事業の目的(どのような結果を得るか)	米作りの本来あるべき姿を実現するため、稲作・転作を組み合わせ、米の生産調整を行い、米の需給及び価格の安定を図る
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	米政策改革大綱

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		345		313		181		604	
内訳	人件費(人・千円)	0.50人	4,200	0.10人	820	0.20人	1,600	0.30人	2,400	195.1%
	正職員	0.50人	4,200	0.10人	820	0.20人	1,600	0.30人	2,400	195.1%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	4,545		1,133		1,781		3,004		157.2%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	4,545		1,133		1,781		3,004		157.2%

指標値	区分	内 容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	米の生産量の抑制	t	84	79	80	
成果指標 (2)								
活動指標 (1)		米の作付け面積	ha	17	16	16		16
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	267,353	70,813	111,313		157.2%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	農家の所得補償のため
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
従来は転作作物が対象であったが農家の所得補償が加わった。	
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input checked="" type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 4208
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1062	7	担当部課名	市民生活部地域活性課
			担当課長名	岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	農園芸の振興
第3期実施計画の事業名	中山池改修事業
財務会計上の事業名	中山池改修事業
事業の対象(誰(何)を)	市民及び農家
事業の手段(どうする(させる)ことで)	農空間の保全及び農業用施設(ため池、水路、水門等)を改修する。
事業の目的(どのような結果を得るか)	中山池を取水源とした農業用水ネットワークの充実と貴重な農空間の保全を目指す。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成18年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	大阪府補助金交付規則及び大阪府耕地事業補助金交付要綱

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)	3,170	9,975	16,031	0	160.7%			
内訳	人件費(人・千円)	0.00人	0	0.11人	902	0.15人	1,200	0.00人	0	133.0%
	正職員	0.00人	0	0.11人	902	0.15人	1,200	0.00人	0	133.0%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	3,170	10,877	17,231	0	158.4%				
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	3,170	10,877	17,231	0	158.4%				

指標値	区分	内容	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標 (1)	中山池改修工事の進捗	%	30	60	100		100
	成果指標 (2)							
D	活動指標 (1)	中山池改修工事の完成	%	30	60	100		100
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	105,667	181,283	172,310		95.1%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	平成22年度完成
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input checked="" type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
老朽化した取水施設や堤体の改修	ため池の決壊による被害を未然に防止し、農業経営の安定を図る。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ()		財務会計上の短縮番号	4020
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1062	99	担当部課名	市民生活部地域活性課
			担当課長名	岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	農園芸の振興
第3期実施計画の事業名	農業委員会運営事業
財務会計上の事業名	農業委員会運営事業
事業の対象(誰(何)を)	農業者
事業の手段(どうする(させる)ことで)	農地法各申請に伴い、定例農業委員会を毎月開催し、適正な事務処理を行う
事業の目的(どのような結果を得るか)	農地法各申請の審査受理、農地紛争の処理、農家・農業に関する啓蒙活動
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 昭和26年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	地方自治法第180条の5

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)	982		4,699		412		508	
内訳	人件費(人・千円)	1.50人	12,600	1.24人	10,168	1.30人	10,400	1.45人	11,600	102.3%
	正職員	1.50人	12,600	1.24人	10,168	1.30人	10,400	1.45人	11,600	102.3%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	13,582		14,867		10,812		12,108		72.7%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	13,582		14,867		10,812		12,108		72.7%

指標値	区分	内 容	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標 (1)	農地による各申請届出の適正処理	%	100	100	100		100
	成果指標 (2)							
D	活動指標 (1)	総会の回数	回	12	12	12		12
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	1,131,833	1,238,917	901,000		72.7%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由(担当課)	農地法各申請の審査受理、農家・農業に関する業務等の適正な事務処理を行うため事業を継続。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
府からの権限移譲による転用許可事務が加わった	
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input checked="" type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input checked="" type="checkbox"/> 定型事業	<input checked="" type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1062	99	担当部課名	市民生活部地域活性課
			担当課長名	岸上 孝志

1 事務事業の概要

施策名	農園芸の振興
第3期実施計画の事業名	農業用施設管理事業
財務会計上の事業名	農業用施設管理事業
事業の対象(誰(何)を)	農家
事業の手段[どうする(させる)ことで]	農業用施設の維持管理
事業の目的[どのような結果を得るか]	農業用ポンプ等の維持管理(修繕・電気料金支払)
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 昭和48年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	米政策改革大綱

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		1,527		1,315		2,082		5,103	
内訳	人件費(人・千円)	0.10人	840	0.11人	902	0.11人	880	0.20人	1,600	97.6%
	正職員	0.10人	840	0.11人	902	0.11人	880	0.20人	1,600	97.6%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	2,367		2,217		2,962		6,703		133.6%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	2,367		2,217		2,962		6,703		133.6%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	電気料金の制御	千円	1,527	1,315	1,299	
成果指標 (2)								
活動指標 (1)		水利組合への指導	回	2	2	2		2
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	1,183,500	1,108,500	1,481,000		133.6%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	農業用施設の維持管理
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
中山池ポンプ周辺フェンス修繕	
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
なし	電気料金を基金から支払う。

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業			
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 ()		財務会計上の短縮番号	4115
第3期実施計画での分類番号/事業番号/枝番号	1062	99	担当部課名	市民生活部地域活性課
			担当課長名	東 勇輔

1 事務事業の概要

施策名	都市近郊農業の保全			
第3期実施計画の事業名	農業祭開催事業			
財務会計上の事業名	蔬菜立毛品評会支援事業			
事業の対象(誰(何)を)	野菜生産農家			
事業の手段(どうする(させる)ことで)	野菜の圃場における立ち姿の品評会を行う。			
事業の目的(どのような結果を得るか)	栽培技術の向上及び後継者の育成を図り、生産者の大きな励みとする。			
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 昭和47年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度			
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成16年度 <input type="checkbox"/> 未実施			
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度			
	根拠となる法令の条項までを記入			

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
	事業費(千円)		4		4		0		4	
内訳	人件費(人・千円)	0.05人	420	0.06人	492	0.05人	400	0.05人	400	81.3%
	正職員	0.05人	420	0.06人	492	0.05人	400	0.05人	400	81.3%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A	424		496		400		404		80.6%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C	424		496		400		404		80.6%

指標値	区分	内容	単位	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (予定)	目標値 (H22)
	D	成果指標 (1)	品評会参加点数	点	19	19	0	
成果指標 (2)								
活動指標 (1)		入賞者の表彰	点	1	1	0		1
活動指標 (2)								

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	424,000	496,000			#VALUE!
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止	選択の理由(担当課) 品評会を実施することで、生産者の大きな励みとなり、栽培技術の向上が図れる。
---	---	---

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
平成22年度は中止	品評会に参加することが、野菜生産農家の励みになっている。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等

事務事業評価シート

22年度実施の事務事業 (23年度評価実施)	<input checked="" type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計	()	財務会計上の短縮番号 4085
第3期実施計画での 分類番号/事業番号/枝番号	1061	2	担当部課名 市民生活部地域活性課	
			担当課長名 岸上 孝志	

1 事務事業の概要

施策名	農園芸の振興
第3期実施計画の事業名	農業祭開催事業
財務会計上の事業名	農業祭開催事業
事業の対象(誰(何)を)	市民
事業の手段(どうする(させる)ことで)	市内各地の農業生産物の紹介及び展示・品評会・即売会を行い、併せて関係資料を展示する。
事業の目的(どのような結果を得るか)	農業振興の一つとして、本市農業及び農産物の紹介、PRを行い広く市民に関心・理解を深めるとともに栽培技術の向上を図る。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 平成 年度 ~ <input type="checkbox"/> 時限 平成 年度 ~ 平成 年度
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input type="checkbox"/> 未実施
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度 + 市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

事業コスト等	区分	20年度 (決算)		21年度 (決算)		22年度 (決算)		23年度 (予算)		H22/H21
		事業費(千円)		1,000		700		700		
内訳	人件費(人・千円)	0.65人	5,460	0.49人	4,018	0.40人	3,200	0.35人	2,800	79.6%
	正職員	0.65人	5,460	0.49人	4,018	0.40人	3,200	0.35人	2,800	79.6%
	再任用職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
	支出合計 A		6,460		4,718		3,900		3,450	82.7%
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源 C		6,460		4,718		3,900		3,450	82.7%

指標値	区分	内容	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (H22)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
D	成果指標 (1)	全体売上高	千円	3,500	3,500	3,500		3,500
	成果指標 (2)	入場者数	名	10,000	10,000	11,000		11,000
D	活動指標 (1)	市広報誌、チラシ折込によるPR	回	4	4	4		4
	活動指標 (2)							

分析項目	計算式	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	H22/H21
単位あたりコスト	一般財源C ÷ 活動指標D	円	1,615,000	1,179,500	975,000		82.7%
受益者負担率	受益者負担B ÷ 支出合計A	%					-

3 成果指標の達成状況(目標に対する22年度の実績)

<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	選択の理由 (担当課)	開催期間は、検討課題である。
<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続		
<input type="checkbox"/> C 判断できない	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止		

4 この1年間の動き

事業内容等、前年と比べて変わったこと	事業の対象者や受益者の反応
	広く池田の農園芸業をPRし、農園芸の振興及び地域活性化に寄与している。
ニーズ・制度・社会情勢・近隣自治体などの変化	これらを踏まえた懸案事項、問題点等
	開催時期の検討。